

平成29年度
事業報告書

平成30年4月

公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構

目 次

1	Aターン・就職促進事業	1
2	若年者地域連携事業	8
3	キャリア応援事業	11
4	インターンシップ支援事業	13
5	出稼ぎ者支援事業（相互扶助）	14

1 Aターン・就職促進事業

決算額 25,242千円

県内企業へのAターン就職の促進を図るため、Aターン希望者登録の促進、県内企業と登録者双方に対する迅速・的確な情報提供とマッチング機会の提供、効果的な広報活動などにより、積極的な事業展開に努める。

(1) Aターン就職希望者登録の促進

Aターン面接会や相談会等の開催、市町村広報、情報誌等を通じて広く登録制度の周知・登録を呼びかけ、新規登録者の増加を図る。

区 分	27年度 実績	28年度 実績	29年度 目標	29年度 実績
新規登録者数	780	672	900	766
年度末登録者数	2,552	2,705	2,800	2,901
Aターン者数	1,080	952	1,150	1,128
うち登録者	224	243	240	314

- ・登録促進へのインセンティブとして、ホームページにAターン登録者専用ページを設置し、登録者でなければ入手できない情報を掲載し、一般閲覧者との差別化を図る等登録に対する魅力の拡大を図った。
6月から順次掲載内容拡大実施中
- ・市町村耳寄り情報・企業PRコーナー・フェア参加企業詳細情報

(2) 面接機会等の提供・確保

- ①Aターンフェア（面接会・セミナー・職業適性診断・就職相談・市町村コーナー等）を秋田・東京で開催し、Aターン就職の促進を図るとともに、国・県で実施する合同就職説明会を支援する。

※各種セミナー・コーナーの充実を図る。

- ・4月・6月・9月・3月に実施の県・労働局主催の合同就職説明会については、既卒を含むものの学生主体のため平成29年度から機構への後援等要請なし
- ・9月、10月のフェアに際し、人材不足の建設・福祉業界に依頼しプー

ス出展(継続出展依頼中)

- ・12月のフェアについては、県内学生も対象とし、総合的就職相談の場
に内容を拡大実施

②【新】企業説明会の開催による企業PRの強化(秋田・東京)

PRブースの設置・相談コーナー設置等

- ・秋田開催を仙台開催に変更
登録者等からの要望があったこと及び県等主催の合同就職説明会が同月
に秋田開催となっていたことから変更
- ・フェア参加企業を対象とした事前ガイダンスの実施
ブースの作り込み、呼びかけ方法、制度、来場者の求める事項等につい
て、当日の行動方法等について指導実施

フェア等開催状況

区 分	実施時期	実施状況
東北UIJターン相談会 回帰センター主催 ※H28 156名来場	7月23日	東京 交通会館 Aターン登録PR(ブース無し) 秋田県関係来場者 129人 県・市町村等ブース16開設
Aターンフェア 県・国・機構主催 ※H28 33社 84名来場 面談延108名	8月5日	東京 ヒューリックホール 43社参加 来場者73名 延べ面談者数 170名 Aターンプース 随時相談 インターン 2名 職業適性診断 17名 後継者人材バンク 7名 林業就業 2名 秋田市 10組 能代市 9組 にかほ市 4組 湯沢市 4組 その他 セミナー実施 特記事項 夫婦家族等13組以上 (複数者の場合カウントは1)

<p>Aターンフェア 県・国・機構主催</p> <p>※ H28 企業なし 47名来場</p>	<p>8月12日</p>	<p>秋田 アトリオン</p> <p>18社参加 来場者66名 延べ面談者数 102名</p> <p>Aターンプース 16名 インターン 2名</p> <p>職業適性診断 13名 後継者人材バンク 4名</p> <p>林業就業 未集計 秋田市 未集計 にかほ市 未集計</p> <p>その他 セミナー実施</p> <p>特記事項 夫婦・家族・親多数来場</p>
<p>Aターン企業説明会 機構単独 H29新規 (労働局支援)</p>	<p>9月3日</p>	<p>仙台 仙都会館</p> <p>16社参加 来場者35名 延べ面談者数 39名</p> <p>就職相談 1名 インターン 1名</p> <p>建設業協会 2名 社福協議会 1名</p> <p>秋田市 3組 にかほ市 2組</p>
<p>Aターン企業説明会 機構単独 H29新規 (労働局・県支援)</p>	<p>10月29日</p>	<p>東京 ヒューリックカンファレンス</p> <p>16社参加 来場者43名 延べ面談者数 59名</p> <p>Aターン等相談 11名 インターン 2名</p> <p>建設業協会 1名 社福協議会 2名</p> <p>秋田市 10組 にかほ市 5組</p>
		<p>秋田 アルヴェ 来場者350名 企業38社 273名面談</p> <p>社会福祉協議会 7名 建設業協会 4名 看護協会 7名</p>

<p>Aターンフェア 県・国・機構主催 ※H28 イオン 13社 各種面談182名 観覧総数約1,000</p>	<p>12月30日</p>	<p>造園協会 1名 秋田市 17名 にかほ市 7名 大仙市 5名 由利本荘市 13名 県人事委員会 14名 Aターン・移住相談 16名 学生相談 8名 インターン 5名 適職診断 20名 職業相談 5名 職場見学受付 2名 延べ404名面談 ※新たに県内高校大学生も対象</p>
<p>Aターンフェア 県・国・機構主催 ※H28 中野サブプラザ 42社 155名 企業面談延230名</p>	<p>2月10日</p>	<p>東京 ヒューリックホール 来場者136名 企業54社 232名面談 相談コーナー等利用者 108名 社会福祉協議会 6名 トラック協会 4名 県警 3名 商工会連合会 4名 引継ぎ支援センター 5名 秋田市 13名 能代市 3名 仙北市 1名 由利本荘市 11名 にかほ市 0名 湯沢市 7名 Aターン相談 26名 学生相談 3名 インターンシップ 1名 職業適性診断等 21名</p>

※9月単独実施の秋田会場を仙台会場に変更(登録者や学生の要望等を勘案)

(3) Aターン企業面接交通費の助成等

① Aターン登録者が、秋田県内で県内企業との面接に係る交通費の一部を助成することにより、面接機会の増加を図る。

区 分	27年度件数	28年度件数	29年度予定	29年度件数
面接者助成	146	128	150	111
うち就職者	58	43	60	60
企業助成	61	64	—	—

※平成29年度より企業への助成は廃止（企業ブース経費で代替え）

※助成の併給等支給要件を緩和、同一企業面接1回、年間3回を上限とした。
（帰省を兼ねた安易な活用防止）

②クオカードの贈呈

Aターン者の実態把握のため、専用フォームで就職を報告した者に対し、お祝いカード（クオカード千円分）を贈呈した。（後日アンケート調査）

報告による贈呈者数 69名（面接交通費助成受給の有無は問わない）

(4) 広報活動の実施

①秋田魁新報を始めとした各新聞や県・市町村広報誌など各種媒体を利用して、Aターン就職促進のためのPR活動の実施

- ・ 7月下旬 魁・朝日・北鹿新聞にフェア実施広告
- ・ 8月上旬 魁・朝日・北鹿新聞にフェア実施広告
- ・ 10月下旬 魁・朝日・北鹿新聞にフェア実施広告
- ・ 12月 魁・朝日・北鹿新聞にフェア実施広告 2回実施
民放三社で15秒ランダムタイムスポットCM60回実施
秋田駅前デジタルサイネージ15秒CM約5千回実施
- ・ 1月下旬 魁・朝日・北鹿新聞にフェア実施広告

②Aターン・就職情報誌「あきた日和」を発行し、Aターン登録者に配布するとともに、関係機関等への配布掲示によるPR活動の実施

7千部×3回発行予定（5千部→7千部→8千部に増）

- ・ 7月5日 第1回発行 7千部
（関係機関学校等230カ所、配布希望登録者2,470人）

- ・ 11月～ 秋田銀行、北都銀行の全支店に配布備え付け
- ・ 11月10日 第2回発行 7千部
(関係機関201カ所、秋田北都各支店178、登録者2,634人)
- ・ 3月26日 第3回発行 8千部
(関係機関217カ所、秋田北都各支店178、登録者2,482人
登録企業750社)

③県内の商工団体や業界・企業に対するAターン制度の普及を図るとともに、企業のニーズに応じた詳細な登録者情報の提供を積極的に実施

- ・リーフレットを作成し、雇用労働アドバイザーを通じて、企業リクエスト制度の周知実施(4月)
- ・登録企業数776社(28年度末684社)(27年度末544社)

④【新】市町村における就職面談会等へ出展し、Aターン登録等PR活動の拡大実施

- ・ 8月10日 由利本荘地域合同面接会 出展
- ・ 1月25日 由利本荘地域合同面接会
- ・ 1月31日 横手市面接会
- ・ 2月 1日 湯沢市面接会
- ・ 2月20日 由利地域Aターン者採用に係る企業向け説明会(振興局)

⑤【新】Aターン登録者への市町村情報提供(郵送)による、Aターンの促進

- ・ 由利本荘市イベント通知を該当登録者へ発送 7月
- ・ 能代市イベント周知パンフレットを登録者へ発送 7月
- ・ 大仙市 " 10月
- ・ にかほ市 " 12月・3月

⑥【拡】財団ホームページでの関係機関とのリンクを拡大強化し、幅広い情報提供によるAターンの促進

- ・ 6月 登録者専用ページに市町村情報コーナー新設
9市町掲載中

(5) Aターン登録者・県内企業の状況把握

①登録者全員に登録内容の再調査を実施し、登録内容の精度向上に努める。

・ 11月実施

調査結果に基づき登録抹消 計186件

(Aターン済93件、連絡先不明者・意思消滅者等93件)

随時作業(調査返戻後ランダムに報告有) PR項目・資格追加等実施

②県内企業の受入人材ニーズの把握に努め、企業情報の整備を図る。

- ・ 6月 登録者専用ページに企業情報コーナー(求人票に書ききれない情報)新設
20社掲載中(登録者のみ閲覧可能)
- ・ 3月末 87社掲載中(フェア新規参加企業を中心に追加中)

(6) Aターン求人・Aターン登録者情報の提供

①登録者への求人情報の提供

- ・ 県内各ハローワークやAターンプラザ秋田で受理したAターン求人を、登録者が当機構ホームページ上で常時閲覧できる体制を堅持
- ・ 最新の求人情報のメール配信

②企業への登録者情報の提供

- ・ 登録者の最新の情報を県内企業が当機構ホームページ上で常時閲覧できる体制を堅持
- ・ 定期的な登録者情報一覧の提供

(7) 【新】Aターンシステム改修調査

- ・ Aターン求人情報の細密化
 - ・ 登録内容の変更手続き簡略化
 - ・ その他情報提供等の見直し
- ・ ホームページでの市町村、企業情報コーナー(登録者専用)を設置(7月1日)
 - ・ 企業情報の収集等実施
 - ・ システムの全面的改修検討に着手 県に予算要求

2 若年者地域連携事業（秋田労働局委託事業）

決算額 32,111千円

コミュニケーション能力や職業に対する意欲が十分でないなどの問題を抱える若年者等に対し、職業意識や社会適応能力の啓発と向上を促すとともに、職場体験などの初歩的な職業指導や就職準備について支援を行うほか、ハローワーク業務との相互補完や関係機関との連携を図りながら、一人でも多くの若年者の就職支援及び若年者の職場定着に繋がるような企業の取組を促すための支援を実施

（1）若年者の採用拡大のための広報及び啓発等

- ・ テレビ、新聞、ホームページ、広報誌による広報及び啓発
- ・ ポスター、リーフレット等による広報及び啓発
- ・ 就職活動支援情報ページの運用
- ・ 「若者応援企業宣言」事業の周知・広報 他

- ・ ホームページリニューアル（8月1日入替）
- ・ 愛称である「フレッシュワーク **AKITA**」の名称を改称（7月1日）
新規名称 あきた就職活動支援センター
※開設当初は若年者を対象としていたが受託範囲に高齢者も加わったものの、愛称が若年者対象のため高齢者の利用拡大を図る必要があり、委託者である労働局と県と協議し改称した。
- ・ FM ラジオ広報中止（新聞等広報に切り換え）
- ・ 7月20日 センターの改称及び活用促進のため新聞広告（魁・朝日・北鹿）
7月27・28日 FM秋田で名称変更告知
- ・ ホームページの全面改修、Facebook 開始
8月15日 ホームページリニューアル広告（魁）
- ・ 11月5日 職場定着セミナー広告（北鹿）
- ・ 12月～2月 民放テレビ3局でCM実施
(15秒ランダムタイムスポットCM255回)

(2) 「就職力」を身につける事業

項 目 区 分	実 施 計 画		3 月 末 実 績	
	回数	人 員	回数	人 員
就職対策ワンポイント講座 各地域毎の実施	30	300	34	515
就活ステップアップ講座 県内3カ所 キャリア応援事業との共催	8	100	24	127
パソコン等を活用した職業適性診断 施設内は随時、各種就職相談会場で の実施	随時	400	随時	1,446

高校 (ハピキャリキット使用)		17校	1,	267名
8月 5日 Aターンフェア 浅草橋ヒューリック			適性診断	17名
8月 9日 福祉就職フェア ビューホテル		63社	63名参加	
			適性診断	13名
8月10日 由利地域合同就職面談会 カダーレ		42社	61名参加	
			適性診断	3名
8月12日 Aターンフェア アトリオン			適性診断	13名
12月30日 Aターンフェア アルヴェ			適性診断	20名
1月25日 由利地域合同就職面接会			適性診断	3名
2月 2日 湯沢市企業説明会・面接会			適性診断	9名
2月10日 Aターンフェア浅草橋ヒューリック			適性診断	21名
2月22日 福祉の就職フェア			適性診断	3名
PC等自主学习・DVD・図書等情報提供 コーナーの運営	通年	2,000		2,702
計		2,800		4,790

(3) 「定着力」を身につける事業

項 目 区 分	実 施 計 画		3 月 末 実 績	
	回数	人 員	回数	人 員
若年者に対する企業説明会・職場見 学会の実施	10	80	15	193

・説明会、見学会21社実施		参加者	154名(学生	96名)
・8月2日 出張企業説明会		秋田市文化会館	1社	39名
若年者に対する職場実習の実施 (39歳までの求職者) 随時受付実施	10	15	16	16

・15社受入				

新卒就職内定者に対する「社会人準備講座」の開催(12~2月) ・高校は、高校単位又は各地域毎の合同とし、大学短大各種専門学校は一括開催	10	1,000	26	2,461
12月 2回実施 207名 1月 6回実施 463名 2月 18回実施 1,791名				
職場定着セミナーの開催(11月) (若年従業員職場定着支援) 県内3カ所 キャリア応援事業との共催	6	100	6	180
県央 秋田市 テルサ 11月 8日 管理者向け 30人(18社) 11月10日 若手従業員向け 31人(15社) 県南 大仙市 大曲地域職業訓練センター 11月15日 管理者向け 38人(22社) 11月17日 若手従業員向け 36人(15社) 県北 大館市 大館市立中央公民館 11月21日 若手従業員向け 20人(11社) 11月22日 管理者向け 25人(18社)				
計	36	1,195	63	2,850

3 キャリア応援事業（秋田県委託事業）

決算額 35,659千円

就職に関する悩みや課題を抱える全年齢層の求職者に対し、キャリアコンサルティングの機会を提供するとともに、相談者個々人の特性に応じたきめ細やかな支援を実施

(1) コンサルティング等施設の運営

- ・秋田県ワンストップサービスセンターとして、「フレッシュワーカーAKITA」の運営
 ※7月1日より、改称 あきた就職活動支援センター
 相談員 3名配置
- ・北部サテライト（大館市）及び南部サテライト（横手市）の運営
 相談員 各2名配置
 ※南部サテライトをイオンの改修に伴い1階から2階へ移設
 （9月17日移転実施）

(2) コンサルティング・セミナー等の実施

- ・各種相談会場等でのコンサルティング・セミナー等への事業展開を拡大

区 分	計 画	3月末実績
個別コンサルティング	6,000人	6,143人
新規登録	1,635名(中央 733 南部 422 北部 480)	
就職者	797名(中央 328 南部 237 北部 232)	
就職支援プログラム作成	700人	1,047人
ジョブカード作成支援	10人	30人
グループカウンセリング テルサ内 火曜日実施	40回	48回
ハローワーク就職支援セミナー 12HW	200回	258回
就活ステップアップ・ワポイント講座(若年連携共催)	100人	234人
就活ミニセミナー(ワポイントへ一部移行)	22回	11回
中学高校等でのキャリア教育支援 実施箇所等 中学校3回、高校17回	12回	20回
若者の職場定着支援(セミナー開催) (若年連携共催) 11月	6回	6回

県央	秋田市	テルサ		
		11月8日	管理者向け	30人(18社)
		11月10日	若手従業員向け	31人(15社)
県南	大仙市	大曲地域職業訓練センター		
		11月15日	管理者向け	38人(22社)
		11月17日	若手従業員向け	36人(15社)
県北	大館市	大館市立中央公民館		
		11月21日	若手従業員向け	20人(11社)
		11月22日	管理者向け	25人(18社)
各種事業開催時におけるコンサルティング等の実施			12回	15回
市町村等就職相談会・機構フェア等共催				
	・	6月16日	鹿角地方職業能力開発協会セミナー	11名
	・	8月5日	Aターンフェア in 東京	16名
	・	8月9日	福祉就職フェア カウンセリング	13名
	・	8月10日	由利地域合同就職面接会 //	2名
	・	8月12日	Aターンフェア in 秋田 //	12名
	・	9月5日	大仙市若者就職応援講座	3名
	・	10月7日	秋田県避難者情報交換会・交流会	1名
	・	11月25日	秋田市女性活躍シンポジウム	20名
	・	12月30日	Aターンフェア in 秋田	20名
	・	1月25日	由利地域合同就職面接会	3名
	・	1月31日	横手市就職面接会・企業説明会	8名
	・	2月2日	湯沢市企業説明会面接会	9名
	・	2月10日	Aターンフェア in 東京	19名
	・	2月22日	福祉の就職フェア	4名
	・	2月26日	由利本荘市社福協会アートセラピー	9名

4 インターンシップ支援事業（秋田県委託事業）

決算額 4,663千円

秋田県が移住定住促進対策の一環として予定しているインターンシップ支援事業を受託し、首都圏等の大学生（3年生以下）を対象としたインターンシップを受け入れる県内企業の開拓、インターンシップを希望する学生とのマッチングによる県内就職の促進

①インターンシップの受け皿の整備

- ・ 県や商工団体、県内外の大学などの関係機関と連携し、インターンシップ受け入れ可能な企業を事業所訪問などによる受け皿の整備

・ 県インターンシップ受入企業一覧308社中234社を対象に実施

②インターンシップを希望する学生の掘り起こしとマッチング

- ・ 学生の家族への県内インターンシップ啓発
- ・ 提携等大学でのインターンシップ実施PR
- ・ 学生からのインターンシップ申込み等受付及び企業とのマッチング
- ・ 就職説明会等での啓発活動

※受入人員 県外学生を32名受入

- ・ 機構ホームページへ受入企業一覧、受付手続等を掲示
- ・ 県内就職希望登録学生へインターンシップ誘引文書送達(577人)
- ・ 大学訪問 5月23日～24日 中央・東洋・大東文化・明治大学
3月5日～7日 東北・東北学院・東洋・立正大学
- ・ 平成29年度32名を受付マッチング実施(18社)
- ・ 8月5日 Aターンフェア in 東京 ブース設置
- ・ 8月12日 Aターンフェア in 秋田 ブース設置
- ・ 9月3日 Aターンフェア in 仙台 ブース設置
- ・ 10月 28年度実施者の採用内定等状況調査実施(県依頼18名)
- ・ 10月29日 Aターンフェア in 東京 ブース設置
- ・ 12月30日 Aターンフェア in 秋田 ブース設置
- ・ 2月10日 Aターンフェア in 東京 ブース設置
- ・ 2月27日 県業界研究会 ブース設置

③インターンシップ実施期間中の支援

- ・ インターンシップの期間中の学生及び企業に対するフォローアップ支援

④インターンシップ終了後のアフターフォロー等

- ・ 県内就職や人材採用に役立つ求人情報の提供

・ 6月1日、8月1日、10月2日 平成28年度インターン実施学生へ送付

5 出稼者支援事業 【その他の事業（相互扶助事業）】

決算額 3, 182千円

秋田県の出稼労働者推計調査によれば、平成28年11月20日現在の本県の出稼者数は414人で、前年度より54人減となり、昭和57年度以降減少が続いている。一方、60歳以上の出稼者が268人（64.7%）と最も多く、50歳以上が、全体の8割以上を占めており、就労先での怪我の発生や留守家族等の連絡不足などが懸念されることから、引き続き、出稼者及び留守家族に対する支援が必要である。

このため、平成29年度においても、秋田県の出稼労働者援護事業方針に基づき、秋田県、県内市町村、秋田労働局等と連携協力し、以下の事業を実施する。

（1）出稼ぎに関する情報の収集、提供

- ①市町村出稼ぎ相談所を通じ届け出た出稼労働者数の把握
- ②秋田県東京事務所と連携した出稼労働者実態の把握

出稼者数の推移

区 分	29年度	28年度	27年度
出 稼 者 数	354人	414人	468人
うち60歳以上	234人	268人	309人
割 合	66.1%	64.7%	66.0%

※雇用労働政策課調（各年とも11月20日現在）

（2）傷害総合保険への加入取次

- ①当財団が団体加入している傷害総合保険事業の情報提供
- ②傷害総合保険加入を前提とした、出稼ぎ就労届出の促進のための、市町村広報、(新)新聞広告等による啓発促進

傷害総合保険加入者数の推移

(3月末現在)

区 分	29年度	28年度	27年度
加 入 者 数	253人	312人	362人
加 入 率	71.5%	75.3%	77.4%

（3）出稼ぎに関する困りごと相談

市町村出稼ぎ相談所、秋田県東京事務所と連携した出稼ぎに関する困りごと相談及び傷害総合保険契約会社への照会、取次